

## ● 大雨時の行動

### ■ ひごろから、家族で話し合っておくこと

#### ハザードマップで自宅とまわりを確認

色が塗られている場所は  
災害の危険があります。

自宅があるところには色  
が塗られていますか？  
避難が必要ですか？



いいえ

#### 自宅に留まる

「避難」とは「難」を「避」けることです。  
安全な場所にいる人は、**避難所等に行く必要はありません。**安全が確保された  
自宅に留まることで感染症の危険から身を守ること  
もできます。

屋内で安全確保  
(垂直避難)



はい

#### いつ、どこへ避難？

浸水が想定されている区域では、自宅などを離れる水平避難が基本です。いつでもどこへ避難するかを整理しておきましょう。基本は、避難所等への避難となりますが、場合によっては災害の影響のない知人宅等への避難も選択肢になります。

自分または一緒に避難する方は、避難するのに時間がかかりますか？

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

災害時の避難先を事前に決めておきましょう。

避難行動	避難所等	短所	・感染症対策が必要 ・ペットの対応が難しい ・犯罪対応が必要 など	・プライバシーがあまりない
	自宅	短所	・備蓄品が必要 ・最新の情報が手に入りにくい ・浸水が長期化した場合、生活環境が悪化する など	・病人の対応が難しい ・ライフラインが止まる
	親知人宅	短所	・長期間の避難は迷惑 ・移動が必要 など	

※短所を確認し、可能であれば複数の避難について検討しましょう。  
※感染症対策としてホテル、車中避難やテント避難も選択肢となる場合があります。

#### 避難所等での感染症対策

- 避難所等へ向かう際は、体温計の持参とマスクを着用しましょう。
- 避難所等では、頻りに手洗いをする等、基本的な感染症対策を徹底しましょう。

## ■ 避難前に集めておく情報

#### 自ら情報を収集し、 避難を判断する

- 避難情報
- 気象情報
- 土砂災害警戒情報
- 河川水位情報
- ダム放流情報



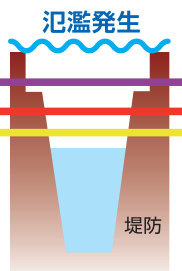
#### 避難は災害発生前に 二人以上で原則徒歩で避難

夜間の避難は足元が見えずに危険なため、暗くなる前に移動を完了しましょう。

#### 河川の水位情報



氾濫危険水域	氾濫の起こるおそれがある水位
避難判断水位	住民のみなさんが避難を判断する水位
氾濫注意水位	氾濫に関する情報に注意する水位



河川	九頭竜川	清滝川	赤根川	石徹白川
観測所	松丸	南新在家	大橋	貝皿
氾濫危険水域	5.00m	2.80m	3.00m	5.00m
避難判断水位	—	2.00m	2.50m	—
氾濫注意水位	4.00m	1.50m	2.20m	3.00m
水防団待機水位	3.00m	1.20m	1.90m	1.40m

## ● 大雨時の防災情報

### ■ 危険度分布で、お住まいの地域の状況を確認しましょう

気象庁から市区町村単位の警戒レベル相当情報\*が出されたら、お住まいの地域の状況が詳細にわかる情報(危険度分布)を確認してください。紫色は危険度が高いことを示しています。

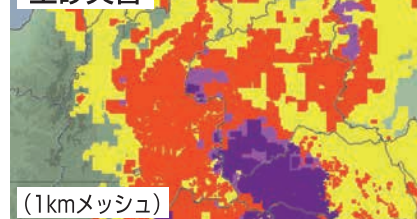
住所を登録しておけば、お住まいの地域が危険になったら自動的にスマートフォンなどに通知される「危険度分布通知サービス」もありますので、活用してください。

危険度分布

検索

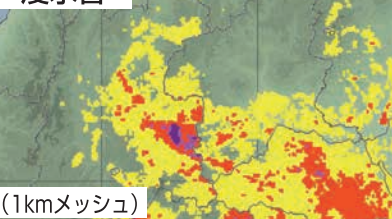


#### 土砂災害



(1kmメッシュ)

#### 浸水害



(1kmメッシュ)

#### 洪水



紫：崖・渓流の近くは危険

紫：低地は危険

紫：河川沿いは危険

※市区町村単位で発表される情報には、大雨特別警戒情報、土砂災害警戒情報、大雨警戒情報、洪水警戒情報などがあります。

## ■ 防災気象情報に注意しましょう

※警戒レベルは1～5の順番で発表になるとは限りません。

警戒レベル	取るべき行動	大野市が出す避難の情報	気象庁が出す雨の情報	国土交通省などが出す川の情報
レベル5	<b>命を守る行動</b> ・既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をとる。	緊急安全確保	大雨特別警戒	氾濫発生情報
レベル4	<b>危険な場所から全員避難</b> ・速やかに避難する。 ・命を守る避難行動をとる。	避難指示	土砂災害警戒情報	氾濫危険情報
レベル3	<b>高齢者等は避難</b> ・高齢者等(避難行動に時間を要する方)は、避難行動をとる。 ・その他の方は避難行動の準備をする。	高齢者等避難	大雨警戒 洪水警戒	氾濫警戒情報
レベル2	<b>避難方法の確認</b> ・ハザードマップなどにより災害リスク、避難所等や避難経路、避難のタイミングなどを再確認する。 ・避難情報の把握手段を確認する。		大雨注意報 洪水注意報	氾濫注意情報
レベル1	<b>災害への心構えを高める</b> ・防災情報などの最新情報に注意する。			

※避難情報は変更になる場合があります。最新の情報は、ホームページ等を確認ください。

## ● 雨の降り方と強さ(1時間あたり)

#### やや強い雨 10～20mm未満



話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。

#### 強い雨 20～30mm未満



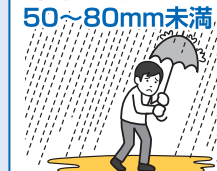
土砂降りの雨。傘をさしても濡れてしまうほどの雨です。小さな河川なら、氾濫・がけ崩れの心配もあります。

#### 激しい雨 30～50mm未満



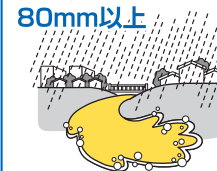
山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなります。道路規制も行われます。避難の準備を。

#### 非常に激しい雨 50～80mm未満



滝のように雨が降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。傘が全く役に立たなくなる激しい雨です。

#### 猛烈な雨 80mm以上



息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。大雨による大きな災害が起こるおそれがあります。厳重な注意が必要です。